

古瀬戸連区

令和 6 年度瀬戸市総合防災訓練

11月17日（日）に「令和6年度 瀬戸市総合防災訓練」を実施しました。

古瀬戸自治連合会の活動報告をいたします。

【背景】

今年は、コロナの状況が比較的に落ち着いたので古瀬戸連区では旧小学校跡地体育館にて活動の最終地として実施しました。

【実施内容】

「大切な人の命を自分たちで守る」を古瀬戸連区の基本方針とし、地震発生時の対応の訓練をしました。

【参加者】

自治会役員 … 6名

町内 … 約65名

ラブリッジ名古屋 … 4名

AM7：40～7：55

古瀬戸消防分団車にて

8：00からの瀬戸市民総ぐるみ防災訓練の開始案内を連区全体に一斉広報する。



AM8：00：地震発生

町内各家庭に於いて、一時避難としてシェイクアウトを実施。
(身をかがめて負傷を防ぐ)



安否札の確認が出来ない家には、
声掛けを実施する。

AM8：30～9：30



連区17町内の訓練参加世帯安否確認プレート掲載報告を受け参加世帯、未世帯の集計を取り、各町内会長が受付に持参。



受付で連区全集計を取り、市役所地域防災支援員より市役所本部に連絡。



受付を済ませた後順番に随時、自治会長の案内にて町内会長、防災関係者を、市役所防災備蓄倉庫、自治会防災倉庫、体育館内防災資材の内容確認。

AM9 : 40



体育館内にて、
全員集合し自治会長挨拶。



古瀬戸消防分団、
市役所支援員紹介。



ラブリッジ選手、コーチ紹介。



防災委員長より、訓練内容についての
注意点を説明。

【活動詳細】

日赤奉仕団

AM8：30～

町内日赤奉仕団によるアルファ米(わかめご飯)
炊き出し準備



参加人数を把握し繰り返し作業。

AM11：00

訓練終了後各自持ち帰り予定。

【活動詳細】

体育館内避難テント設営

- ・避難所開設時使用する家族避難用テント
8セット
- ・着替え用、授乳用テント
2セット



【活動詳細】

瀬戸市消防分団女性分団員によるAED指導

体育館中央に全員で集まりデモ機3体での実演

- ・ 周囲への呼びかけ、声掛け
- ・ 患者への声掛け
- ・ 呼吸確認
- ・ 救急車への対応

●AEDの取り扱い

- ・ パッドの貼る位置
- ・ 使用時には必ず離れる事



【活動詳細】

瀬戸市消防分団女性分団員によるAED指導②



【活動詳細】

古瀬戸消防分団
町内単位で5か所に集まり、
日用品使用の応急処置の指導



- ・毛布、物干し竿での簡易担架
- ・ストッキングでの包帯
- ・コンビニ袋での三角巾
- ・雑誌と傘をラップで巻き
骨折応急処置

【活動詳細】

訓練終了挨拶

AM：11：00

出来上がったアルファ米等を持ち帰り訓練終了。

ラブリッジ名古屋選手

古瀬戸消防分団長



瀬戸市地域防災支援員

